

2017年3月27日

報道関係各位

音楽教育を守る会

署名活動をスタート！
～音楽教育の場からの演奏著作権使用料の徴収に反対～

音楽教育を守る会(代表:三木渡、事務局:ヤマハ音楽振興会内)は、JASRAC(日本音楽著作権協会)による音楽教室における著作権料徴収の動きに反対し、署名活動を行います。

JASRAC は音楽教室を対象とする使用料規程案を策定し、文化庁に届け出ようとしています。音楽教育の場から演奏著作権使用料が徴収されるようになれば、教室で使用する楽曲の選択に影響が生じることで、幅広いジャンルの音楽を学ぶ機会も減少し、音楽愛好家や演奏人口の減少に繋がります。また、将来的には次世代を担う音楽家の輩出にも影響を及ぼし、日本の音楽文化の発展を阻害する結果になるなど、その社会的影響は大きいと考えられます。

これからの音楽文化の発展のために、文化庁長官に JASRAC の使用料規程案の取り下げの指導を求める請願をするにあたり、ご賛同いただける方への署名活動を行なってまいります。

< 記 >

■署名活動開始日: 2017年3月27日(月)

署名活動は書面によるものに加え、WEB 上での署名活動も併用し、6 月末までに 50 万人を目標に実施いたします。

■署名の取り扱い窓口:

1. 「音楽教育を守る会」会員団体

※ 3/28 時点で約 300 団体。下記公式サイトに会員団体一覧を掲載しています。

公式サイト URL <http://music-growth.org>

会員団体に署名用紙を用意しております。

2. 署名サイト「change.org」からの署名

<https://www.change.org/p/文化庁長官-音楽教育の現場からの演奏著作権料徴収に反対>

【本件に関するお問い合わせ】 *平日 9:30-17:30 / 土日祝休み

音楽教育を守る会 事務局 斉藤(サイトウ)

TEL 03-5773-0899 (ヤマハ音楽振興会内)

【報道関係者取材のお問い合わせ】

TEL 03-5773-0808 FAX 03-5773-0857